

2018年6月

2017年度  
「決算報告書」

(2017年4月1日～2018年3月31日)

( 添 付 )

☆「計算書類」

- ・「貸借対照表総括表」「内訳表」
- ・「正味財産増減計算書」「内訳表」
- ・「収支計算書総括表」
- ・「財産目録」
- ・「附属明細書」
- ・「財務諸表に対する注記」

☆「監査報告書」

公益財団法人  
全労連会館

## 「2017年度決算報告書」

「公益財団法人の財政管理」として、収入・支出とも「公益事業会計」「共収益事業会計」「法人会計」の3区分で予算を立て、同じ区分で決算をしています。

### 1 収入の部

①「会費収入」と「賃貸料収入」「貸車庫・倉庫収入」は、予算通りの収入となっています。

②「会議室収入」は、館内団体（公益事業団体）の利用が前年並みで、外部組織（共収益事業団体）の利用数は新しい団体の利用数が若干増え、全体では予算を上回りました。

③「教育事業収入」は、書籍の交換頻度を多くし、本の種類も多くするなどの工夫等の結果、売上数が増え、不明金も少なくなり、前年比・予算比共増額となりました。

④「印刷事業収入」は、外部団体からの「全面委託の看板作成」が増えましたが、館内団体の利用が若干減り、予算を若干下回りました。

⑤「雑収入」は、自販機売上マージンなどで、予算を下回りました。

⑥ これらにより、今期の収入総額は、予算より約94万円多い **94,922,836**円となりました。

### 2 支出の部

今年度は、財政活動の安定的運営を進めるために、予算枠内執行に努力をしました。その執行状況は別紙の通りです。

①「管理費支出」＝ 会館の維持管理にかかわる諸支出については、極力節約を心掛けて運営を行ない、ほぼ全て予算内で執行できました。

人件費と役員報酬、雑給（派遣者等の給与）とも、予算内執行となっています。

法定福利費、福利厚生費、諸会費、新聞図書費、中退金掛金、資料センター費も予算内執行となっています。

旅費交通費が予算をオーバーしたのは、会議等が増えたのと管理室の勤務員の交通費（通勤定期代）が大幅に増えたためです。

②「事業活動支出」＝ 公益事業、共収益事業に関する諸支出費も極力節約を心掛け、ほぼ全て予算内執行となりました。

渉外費、通信費、水道光熱費、租税公課、消耗品費、備品・事務用品費、事務費、修繕費、会館警備費、施設清掃費、保険料、会議費、雑費は予算内に抑えることができました。

施設維持費が予算を若干オーバーしたのは、施設・機器等の経年劣化のための維持費やメンテナンス料が予想より多くなったためです。

### ③「特別支出」

㊦ 固定資産（備品＋設備）は、管理室のコピー複合機の更新とおむつ交換台設置、さらに会館のネットワークセキュリティ工事、2階ホールのネットワークカメラの修理・交換工事等の費用です。

㊧ 退職引当預金は、年度末の必要額 100,000円を預金し、預金利息が8円ありましたので、年度末の退職積立預金は、1,019,936円となっています。

㊨ 会館建設から16年目となり、今年度自家発電装置設置工事を行うため、全労連と民医連からの借入金の返済を1年伸ばしてもらい、予算より1,000万円多い2,500万円の修繕引当積立を行いました。

修繕積立預金の前年度末残高は17,702,083円となっておりましたが、今年度積立てた2,500万円と預金利息299円をプラスして、42,702,382円となりました。

今年度行った自家発電装置設置工事の費用として、合計15,890,650円がかかりましたが、その内15,843,600円と振込み手数料1,728円を修繕積立預金から支払いましたので、修繕積立預金の年度末残高は、26,857,054円となっています。

㊩ 現在ある借入金は、「大規模修繕費用」として、2014年に全労連と全日本民医連から借り入れている分です。

期末現在の借入金の残高と返済期限は下記のようにしております。

借入先 団体名	期末借入残高	備 考
全日本民医連	1,000万円	契約期限 2018.5.31
全 労 連	2,000万円	契約期限 2019.4.30

④ 今期は未払い法人税 1,280,200円を支払います。

消費税は中間が410,600円でしたが、確定納付分が 1,341,200円となりましたので、今期 930,600円を支払います。

⑤ 以上の結果、今期の経常支出総額は、89,697,489円となり、特定資産取崩益、事業外支出、法人税を含め当期の収支差額は、2,981,518円のプラスとなりました。

その結果、前期繰越金 68,628,660円と合計すると、次期繰越金は、71,610,178円となります。

### 3 「減価償却費」について

今期減価償却の処理は下記の通りです。

	今期計上額	累積計上額	除却資産の累計額
前年度迄の累計		348,879,807円	
今年度減価償却額	24,899,900円	372,665,239円	▲1,114,468円

### 4 「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「収支計算書」「財産目録」等について (別紙)

### 5 「監査報告書」 (別紙)

(以 上)

2018年3月

2018年度

# 「事業計画書」

(2018年4月1日～2019年3月31日)

公益財団法人  
全労連会館